

## 年報第9号発刊によせて

茨城大学大学院教育学研究科 教育実践高度化専攻長

鈴木 一史

本学教職大学院は、6コースに改組して3度目の修了生を送り出しました。ここで育った学生たちが茨城県内をはじめとして各地で中核となって教育をリードしていく存在となることを心から願っています。この年報は、そんな学生たちを始めたとした教職大学院全体の活動をまとめたものであり、学修の記録です。年報には学生の2年間の取り組みをまとめた「実践研究報告書」の抄録原稿を掲載しており、Web上でも公開しております。それぞれの学生が取り組んだ実践研究は、教職大学院に在学中に取り組んだ成果であり、多岐にわたる広い視野での研究や深い専門性を突き詰めた研究などが多数収録されております。ぜひともご一読いただき、ご助言やご指導を賜りますようお願い申し上げます。

今年度は、改組後の節目の年として、国公立を問わずすべての教職大学院が対象となる「教員養成評価機構」からの認証評価を受けました。評価書の中で、「ディプロマ・ポリシーに掲げた①子どもを深く理解できる力、②広い視野、③深い専門性、の3つの資質・能力の育成を図るように体系的な教育課程が編成されている。」とのコメントをいただきました。私たちの教育の方向性が間違っていないことの表れかと思います。また、茨城県の教育組織との連携として、「茨城大学教職大学院の令和3年度の改組に際して、新設コースの設置について、茨城県教育委員会と密接な協議を重ねている。教育課程連携協議会において、教職大学院のカリキュラムの見直しを安定して実施している。」との評価もいただきました。これはひとえに茨城県教育委員会ならびに連携協力校の市町村教育委員会の皆様からのお力添えをいただいた賜物と感じております。心より御礼申し上げます。

今年度の教育実践フォーラムは、茨城県つくば市教育長の森田充先生をお招きして、ご講演いただきました。「GIGA スクール構想の実現に向けた学校教育の取り組み～つくば市の取り組みと令和の日本型学校教育～」と題して、先生が取り組まれた教育改革の一端とこれから教育が向かう先についての貴重なお話をいただきました。森田先生はGIGA スクールや教育とAIの関係について多くの資料をもとに示唆に富むお話をしてくださり、教員を育てていく立場の私たちも大いに勇気づけられたところです。ハイブリッドで行いましたが250人以上の方々にご参会いただき、大変意味のある会となりました。昨年から行っている「ホームカミングデー」と題した懇親会も「茨苑会館内ベーカリーショップ」を会場とし、70名近くの参加者が集い、盛大に行われました。今後も様々な交流の場を設定し、相互の親交を深めていくとともに、修了生の活躍や教職大学院に対する希望や期待なども集約できる場としたいと考えております。

最後に、本大学院の実習や研究の遂行に際して、多くの関係諸機関の方々からご協力をいただきました。茨城県教育委員会、県内各市町村教育委員会、茨城県学校長会、茨城県教育研究会、そしてさまざまな実習科目にご協力いただいております教育関係機関ならびに、茨城県立歴史館、茨城県立近代美術館をはじめとして様々な社会教育施設等の皆さまにも多大なるご支援をいただきました。厚く御礼を申し上げますとともに、引き続きご支援賜りますようお願い申し上げます。